



奈良町にぎわい通信

Vol.9

二〇一六・一月号

発行
奈良町
にぎわいの家





みんなでしめ縄作り。
自分で作ると
嬉しさもひとしお。



和裁技能士の松本さんが
用意下さった
昔の裁縫道具で袋を作ります。



藁をやわらかくしています。



しめ縄作りの名人、
岡井さん。パワフルに
指導下さいました。



町家講座は材辰の吉田さん。
懐かしく貴重な昔の写真も。

奈良町にぎわいの家 12月のイベントから



冬のかまどの
あたたかさ。



蓄音機コンサート。
京終にあったテイチクの
写真を見ながら。



俳人の倉橋みどりさんによる
二十四節気講座「冬」
俳句も交えて。



→
榊原郁恵さんの
レポート番組
かまど御飯撮影中。

テレビ取材を
受けました。

←こちらは
タカラジェンヌ
の番組。



電気がなくても手で回せば
音楽が聞ける...

町家講座「奈良の町で木と生きる」

材辰 吉田勝彦さんのお話から（平成27年12月19日）

木の値打ちや家造りへの愛着を、ゆったりとした語り口でお話し下さいました。木造住宅の需要が激減している現実の中で、木とともに生きてきた吉田さんの人生の奥深さが参加の皆様にも伝わったようで、とても和やかで心豊かな講座となりました。

●材辰の歴史●初代は明日香出身で勝彦さんは3代目。天理教本部や法隆寺、姫路城などの木材納入を仕切った当時の写真や社寺からの感謝状を見せていただきました。中でも背丈以上の幅がある、春日山の巨木の作業風景（昭和17年）が目を引きまします。

●家作りと木材について●現代は家を買うが、以前は家は造るもの。百姓さんなどは今年は豆が豊作だったから柱を一本買う、また一本と何年もかけて揃えていく家もあった。家造りの姿勢が昔とは違っていた。

●にぎわいの家に似た家が奈良町にある?!●おそらく大工が同じ。大工の個性や好みが木造の家には見て取れる。

●にぎわいの家の柱●一本一本、実際に見て回りながら、参加者の質問に応じて種類や性質を説明して下さいました「この木は芯去り」これは「芯持ち」と、木取りも教えてもらいました。長押は投石とも書き、石を隠しておいて敵が来たら投げた時代があったというお話も。●植林●木は切って倒しておく乾燥して軽くなると共に、強くなる。今は時間をかけずにヘリコプターに集材するが…。

材木倉庫の事務所や見事な銘木のお宅で打合せをする度に、木材や京終周辺のことを話題豊富に教えていただき、その温かいお人柄に「まさに木は人である」と、木の文化の凄さを感じました。吉田社長、ありがとうございます。

（レポート 堀内紀子：奈良町にぎわいの家）



材辰 吉田勝彦さん



*写真：春日の巨木



*写真：大きなノコギリ（機械と違い、木曳き（こびき）さんの手で思ったところを曳ける）

奈良町にぎわいの家では、二十四節気オリジナルスタンプと節気ごとの歌で皆様をお迎えします。

短歌...喜多隆子（歌人・ヤマモユ編集委員）／書...逢香（奈良教育大学）

新年・蔵特別企画「連凧アートでおめでとう」

～1/26(火)まで

蔵につながる沢山の凧。来館のお客様、地元アーティストの皆さん、学生さん、にぎわいの家スタッフの描いた、様々な凧がにぎやかにつながっています。それぞれの力作が、新年を祝してくれました。

ご協力いただいた皆さん（順不同）

藤原靖浩（書作家・「百足園」主宰）

イマタニタカコ（墨デザイン部）

中井由希子（rooftopならまち染工房）

池口正峯（書家）

奈良市立伏見中学校美術部

NOBU-SAN

石崎悠葉

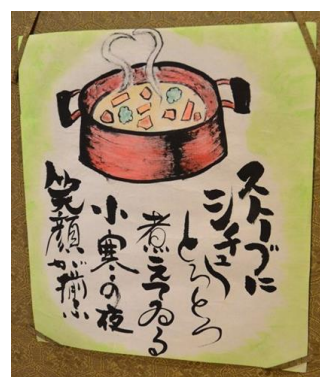
ストーブの上にシチューがのっている、冬の温かい風景。鍋を置けるようなストーブは今は中々、見られませんが、火の色を感じながら暖をとっていた時代は、体で感じる温度以上に、気持ちで温もる冬であったように思います。小寒の夜、ストーブを囲んでシチューができるのを待っている、美味しい予感に笑顔がこぼれます。冬のお家の素敵な時間。

奈良町にぎわいの家
二十四節気
オリジナルマーク「小寒」
デザイン：金田あおい



ストーブにシチューとろとろ煮えてゐる

小寒の夜 笑顔が揃ふ



事務局だより

2016
1月号

新年を迎えて

事務局長 藤野正文

みなさま、明けましておめでとう
ございます。旧年中は多くの皆様方
のご支援等を頂き、また、多くの方
々の来訪もあり、誠にありがとうございました。

新年を迎え新たな気持ちで引き続
き運営に取り組んでいきたいと存じ
ますので、よろしくお願いいたしま
す。

お正月を皆様いかがお過ごしだっ
たでしょうか？少し前までは、師走
にはお正月に向けて大掃除して、お
正月には3世代以上の家族みんなが
家に集まり、賑やかにお屠蘇を飲み
おせちを食べたり、こたつでミカン
親戚や近所の子供たちも集まってカ
ルタやトランプ、福笑い、双六、百
人一首で笑いながら真剣に？遊んだ
ものでしたね。幼心にでも遊びをと
おして学んだこともあった気がしま
す。

家族のありようも変わって来つつ
あり、そんなアナログなあたたかい
風景は是非残していきたいものです。
にぎわいの家では、冬の様々な遊び
道具を用意して、少しの間でも「童
心に戻った瞬間（とき）」を提供で
きればと思っています。

正月遊びでにぎわおう！

1/31まで

座敷にカルタ、すごろく、福笑いを。
玄関横スペースには、羽子板とコマ他
用意、子どもたちのにぎやかな声が。



「犬も歩けば棒にあたる」
ことわざカルタも人気！



福笑い、
あやとり
大人も子ども
も一緒に。

羽つきにコマ回し。
外で一緒にできる
昔遊びは今も
楽しい！



海外のお客様と・・・

昨年12月に来られたリトアニアからの団
体のお客様。中に鈴の入った紙風船を差し
上げたところ、突然、皆さんで歌を披露し
て下さいました。天井の高い通り庭の空間
に、まるで聖歌を聞くような、美しい声が
響き、とても感激しました。それもそのは
ず。皆さんは「ワプロ」という、リトアニアの
楽団の方々と、東京で杉原千畝の記念オペ
ラコンサートを終えられて、奈良に観光に
来られたとのこと。奈良はとても良いとの
感想もいただきました。クリスマス前の季
節、まるで天上の歌声を聞いたような、素
晴らしい体験でした。皆さん、ありがとう
ございました。



通り庭、高い梁まで声が
届く...。居合わせた皆が
うっとり聞き入りました。

にぎわいの家の前で
皆さん紙風船を持って。
素晴らしい一期一会に感謝。



奈良町にぎわい通信vol.9

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

http://naramachi-nigiwainoie.jp/

イベント、講座情報は、ホームページ、
フェイスブックからご覧になれます。
是非、ご参加ください。

奈良町にぎわいの家二十四節気マークから



寒の入り

一月の節気



最も寒い時季

今年のお正月は温かく、もう梅の花が 咲いたと
いうニュースが。一方、海の海水温が高く、海苔や
寒ブリがとれないという話も。冬ならではの風景や
味覚、節気の言葉から思い出しています。